

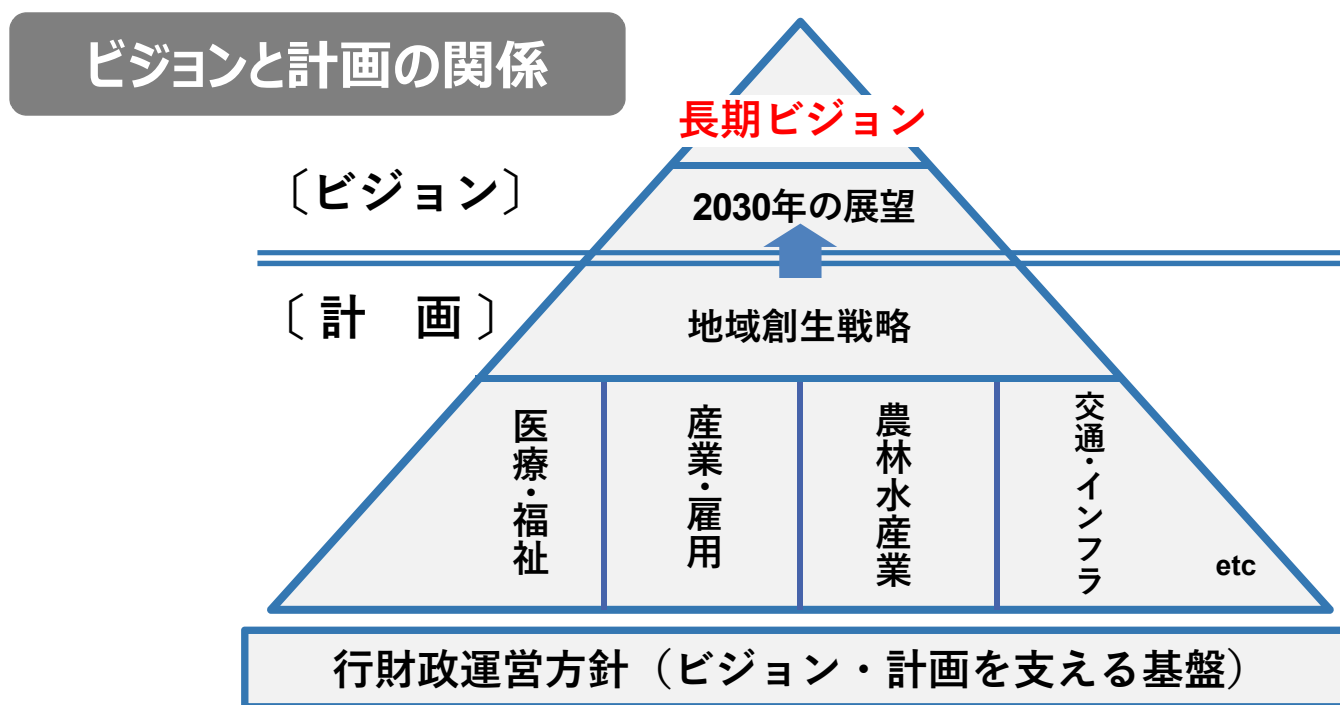


兵庫から新たな未来を創る

1 21世紀兵庫長期ビジョンとは

長期ビジョンの位置づけ

- ◆ ビジョン：進むべき道を共有するための、めざすべき将来像
- ◆ 計画：ビジョンを羅針盤とし、その実現に向けた具体的な取組内容を記載



※「地域創生戦略」は、地域の元気づくりと人口対策に重点を置いた、県計画の中で最も総合的な計画

長期ビジョンの特徴

県民主役・地域主導

行政主導ではなく、地域主導で、県民自らが地域の「夢」を描く

「計画」ではなく「ビジョン」

事業量を数値で示す
「計画」ではなく、皆で共有できる未来像

21世紀兵庫長期ビジョンの特徴

参画と協働

多様な主体が自らの責任のもとに県政や地域に「参画」し、対等な関係で「協働」

「プロセス重視」

「つくって終わり」ではなく、進み具合を皆で点検・評価する「成長し続けるビジョン」

長期ビジョンと2030年の展望の比較

長期ビジョン

約30年後

今の常識にとらわれず、本当にありたい社会、
次世代に残したい社会を大胆に描く

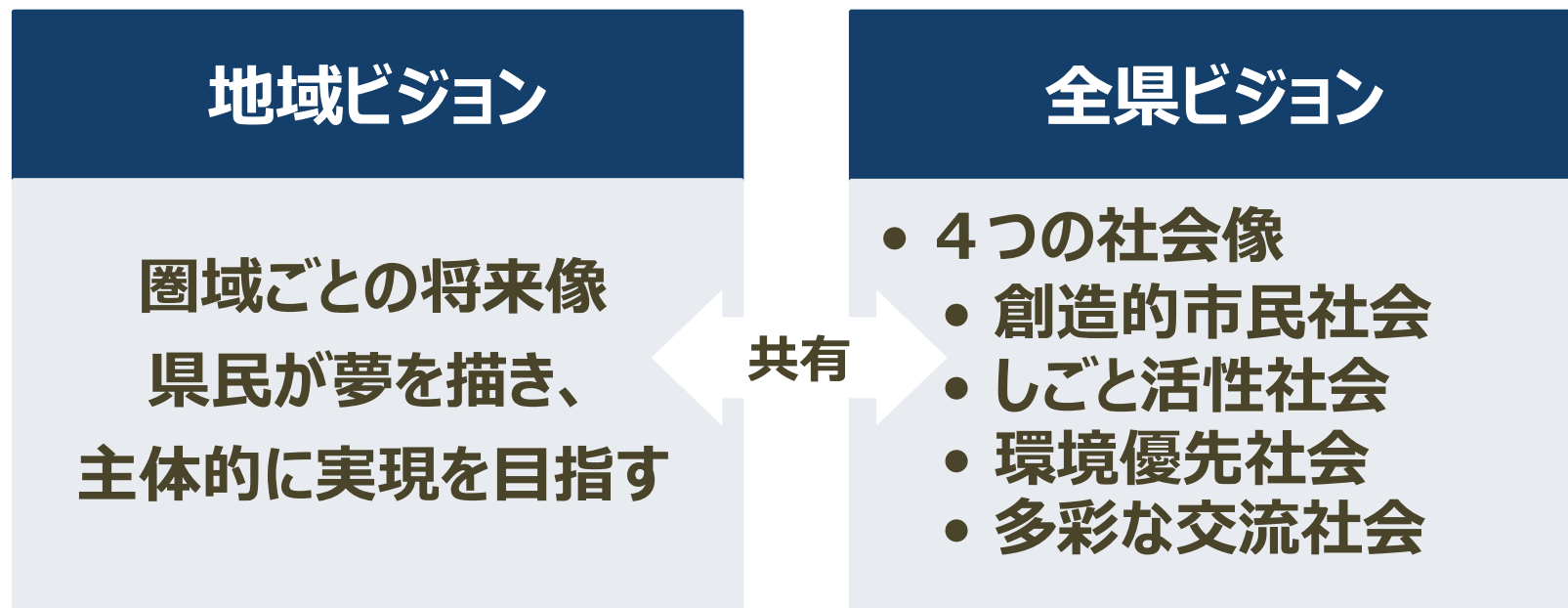
2030年の展望

約10年後

今の世代が引続き活躍している社会、趨勢・技術の進歩など想定され得るものを前提に描く

長期ビジョンの構成

- ◆ 県全体の視点から見た「**全県ビジョン**」と、圏域ごとに住民が将来像を描いた「**地域ビジョン**」で構成
- ◆ 地域ビジョンと全県ビジョンが**将来像を共有**



全県ビジョンの概要 ～4つの社会像と12の将来像～

4つの社会像	12の将来像 (実現したい姿)
創造的市民社会 	1 人と人のつながりで自立と安心を育む 2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する 3 次代を支え挑戦する人を創る
しごと活性社会 	4 未来を拓く産業の力を高める 5 地域と共に持続する産業を育む 6 生きがいにあふれたしごとを創る
環境優先社会 	7 人と自然が共生する地域を創る 8 低炭素で資源を生かす先進地を創る 9 災害に強い安全安心な基盤を整える
多彩な交流社会 	10 地域の交流・持続を支える基盤を整える 11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す 12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

地域ビジョンの概要 ～個性豊かな将来像～

◆人の輪と地域の輪がつながる元気な 中播磨をつくろう

～つなぐ つながる 銀の馬車道～

■ 地域の夢

希望が育つ中播磨／安全安心中播磨／
自然豊かな中播磨／元気交流中播磨

◆光と水と緑でつなぐー元気・西播磨

■ 地域の夢

人の輪社会／安全安心社会／環境王国／
きらきら西播磨

◆水辺・ものづくりのまち（東播磨）

■ 将来像

心地いいまち／楽しいまち／美しいまち／
力強いまち

◆環境立島あわじ

～人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”へ～

■ 理念

命をつなぐ“持続可能な島／経済・社会・環境
の調和がとれた新たな“幸せ社会”／環境立島“公園島
淡路”の理念の継承と発展

◆「楽しいまち・神戸」人々が集い、喜びと感動が共有できる

■ めざす都市像

市民自律都市／フロンティア都市／コミュニケーション都市

◆あしたのふるさと但馬 ～コウノトリ翔る郷～

■ 将来像

自立の郷／賑わいの郷／癒しの郷／慈しみの郷

■ 行動目標

人づくり／産業づくり／誇りづくり／安心づくり

◆みんなで丹波の森

■ 理念

たんばを楽しむ連携・交流

■ 将来像

みんなで創る“自立のたんば”／都
会に近い田舎を楽しむ“交流のたんば”／やり
がいを実感できる“元気なたんば”／多世代が
支え合う“絆のたんば”／ともに暮らす“安全
安心なたんば”

◆ひょうごのハートランド

■ 地域像

交流が広がる／生活（くらし）の
絆が深まる／文化が花開く／恵み豊かな環境
が持続する／元気な産業が興る

◆阪神市民文化社会の創造

市民が主役となり、行政がそれを支える

■ 将来像

多様で個性的なライフスタイル／自律
と協働による温かいコミュニティ／自然と豊かに
調和した安全・快適な都市環境／豊かさにとぎわ
いを創出する新たな阪神経済



2 新ビジョンの策定に向けて

新ビジョン策定の背景

- ◆ ビジョン当初策定から20年が経過
- ◆ この間に、兵庫を取り巻く環境は大きく変化
- ◆ こうした変化も踏まえて、進む道を県民の皆様と共に改めて考えたい

新ビジョン策定期等

			[展望年次]
・ 2001年 2月	現行ビジョン策定		2030年頃
・ 2011年 12月	// 改訂		2040年頃
・ 2022年 3月 (予定)	新ビジョン 策定		2050年頃

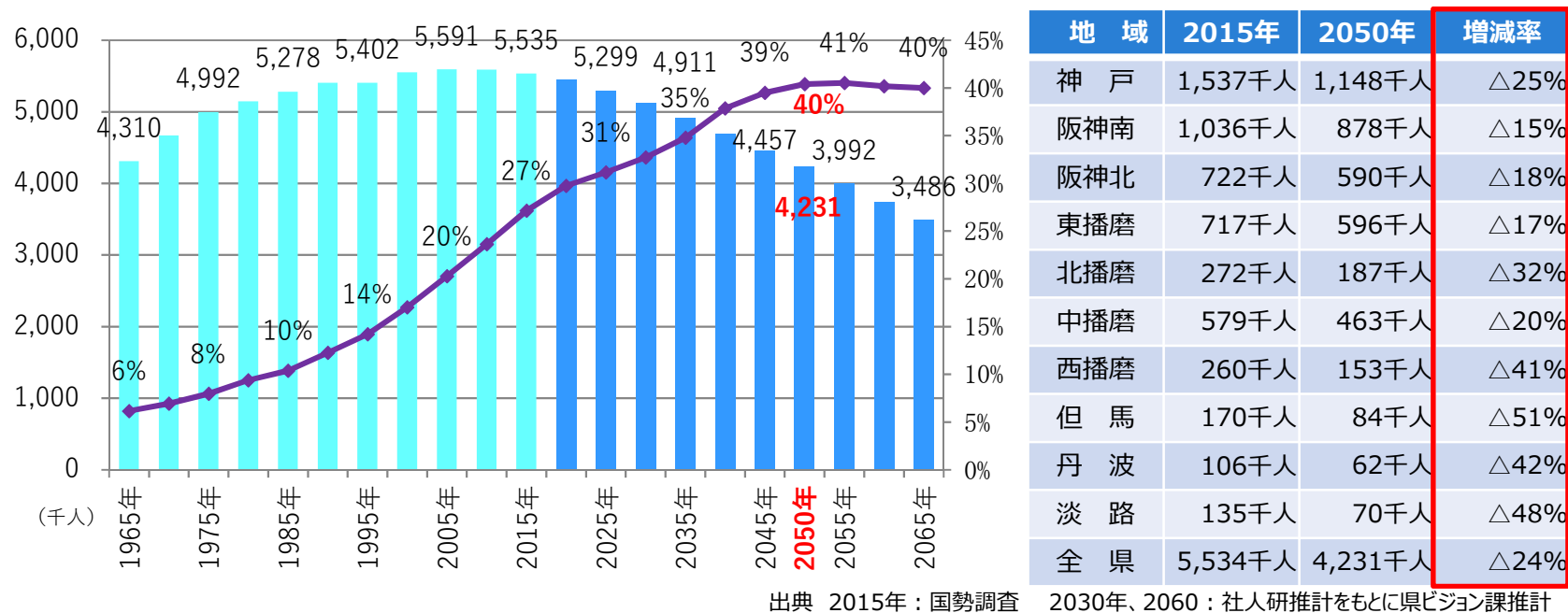
環境変化① 人口減少と少子高齢化（１）

人口減少と少子・高齢化が加速

- ・ 2015～2050年で24%・約130万人の**人口が減少** ※現在の神戸市人口150万人とおおよそ同規模が減少
地方では、減少率が50%を超える地域もあるなど、**都市部と地方の間に偏在化も**
- ・ 65歳以上の人口も2050年には40%に。介護需要も増加

◆ 人口の将来推計

1965～2065年の「人口と65歳以上人口比率」の推移（2020年以降は推計）



環境変化① 人口減少と少子高齢化（２）

西播磨地域でも進行する人口減少と少子高齢化

西播磨地域の人口推計

※ 14才以下：年少人口、15～64才：生産年齢人口、65才以上：高齢者人口

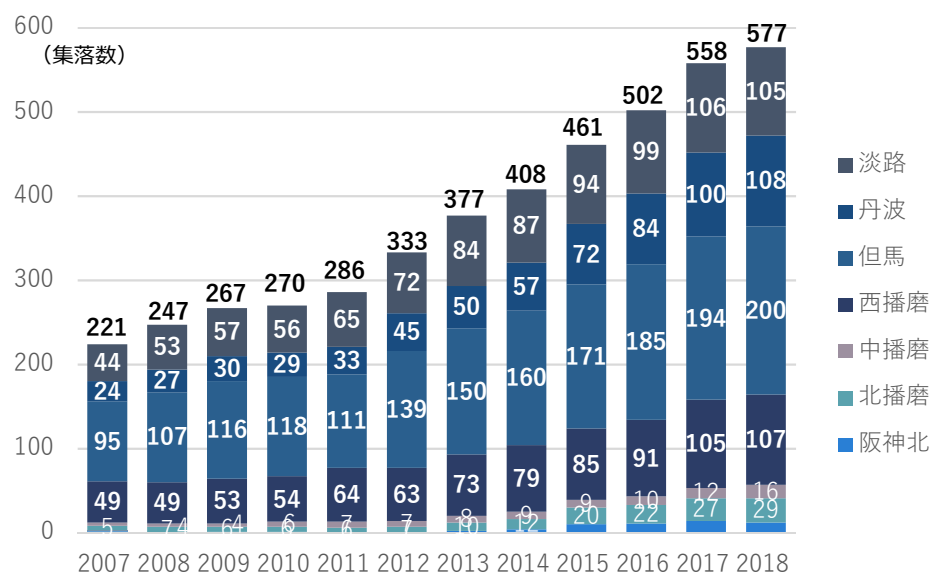
	2015年				2050年				増減率	
	人口 (千人)	年齢別シェア			人口 (千人)	年齢別シェア				
		14以下	15～64	65以上		14以下	15～64	65以上		
西播磨	260	13%	57%	30%	153	10%	46%	45%	△41%	
	相生市	30	11%	54%	34%	18	11%	47%	42%	△39%
	たつの市	77	13%	58%	28%	51	10%	49%	41%	△34%
	赤穂市	49	12%	57%	30%	26	7%	41%	51%	△47%
	宍粟市	38	13%	55%	32%	16	7%	39%	54%	△56%
	太子町	34	16%	59%	24%	29	13%	52%	35%	△13%
	上郡町	15	11%	55%	34%	6	6%	37%	57%	△59%
	佐用町	18	10%	52%	38%	6	4%	26%	70%	△66%
全 県	5,535	13%	60%	27%	4,231	10%	50%	40%	△24%	

環境変化① 人口減少と少子高齢化（3）

地域構造が変化し、自治機能の維持が困難な地区も

- ・ 県内の小規模集落数は継続して増加。2018現在、577集落と10年間で約2.5倍に

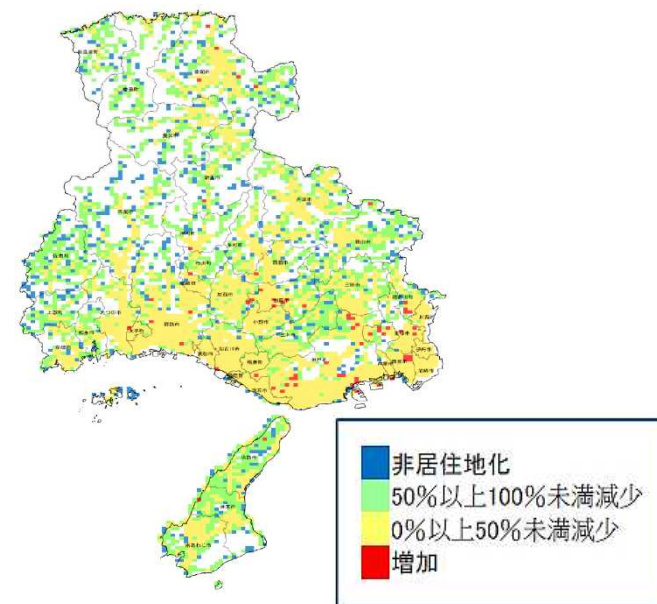
◆ 小規模集落数の推移（県）



※小規模集落： 世帯数50戸以下で高齢化率（65歳以上比率）40%以上の集落（市街地及びその周辺、駅周辺などを除く）

出典 地域振興課調べ

◆ 将来人口 約1km四方別 (2010年～2050年の増減)



出典 国土交通省「国土のグランドデザイン2050」(2014)

新技術の活用が豊かな社会を創る鍵に

- ・ AI、IoT、ロボットなどの**革新技术**は社会を一変させるインパクト
- ・ **コロナ禍**でテレワーク、オンライン授業、オンライン診療などの活用が拡大

	技術革新の主な事例	
暮らし	○キャッシュレス決済、 ○デジタル通貨 ○AI家電、自動翻訳	○オンライン授業 ○防犯カメラのAI解析
移動	○自動運転 ○コネクティッドカー	○ドローン配送 ○トラックの隊列走行
健康	○オンライン診療 ○ビッグデータによる健康管理	○介護ロボット ○AIを用いた診断支援
産業	○省人化・無人化工場 ○消費者データによる需要予測	○テレワーク、Web会議 ○スマート農業

播磨科学公園都市で自動運転公道実証した
遠隔自動運転車両

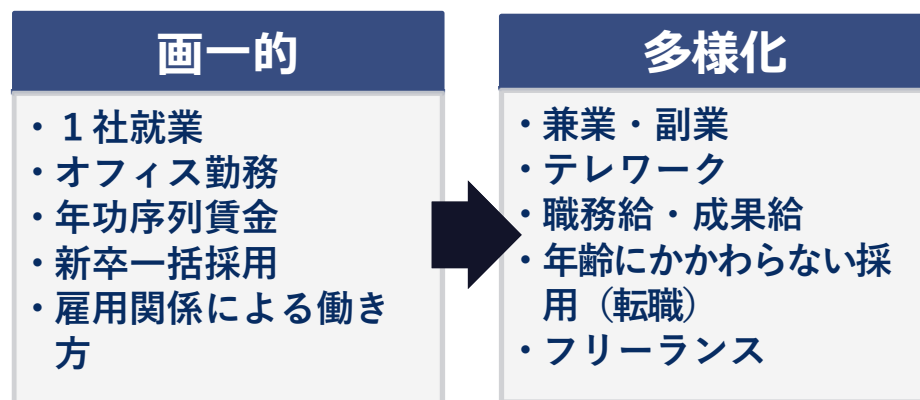


人生100年時代の到来

ライフコースの多様化、脱「定年退職」

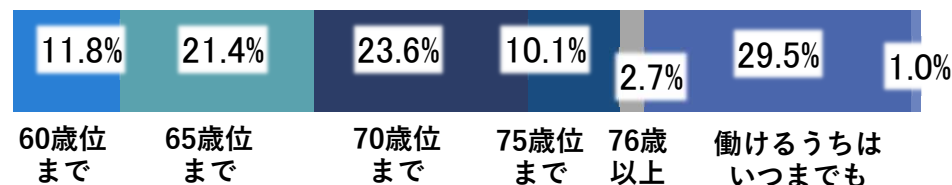
- ・テレワーク、兼業・副業など働き方の選択肢が拡大。働き続けたい人の増加
- ・「教育」「勤労」「引退」の3ステージの人生から、いつでも再チャレンジできる
マルチステージの人生に

◆働き方の多様化



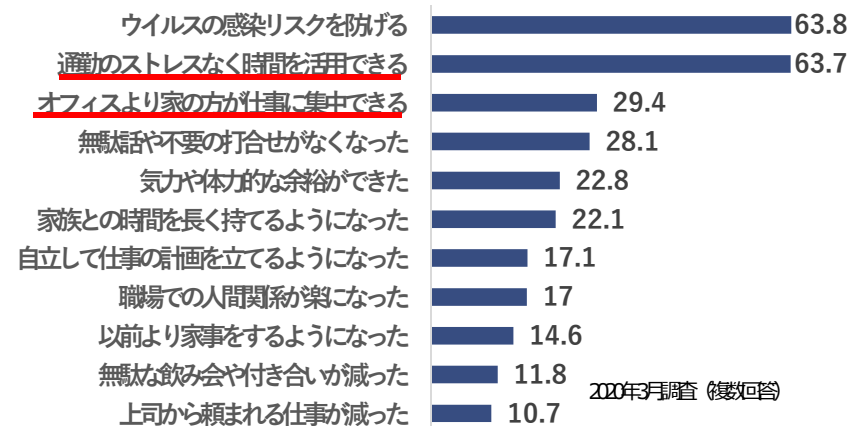
◆働き続けたい年齢

65歳を超えて働きたい：65.9%



出典 内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(2013)

◆在宅勤務して良かったこと



出典 Biglobe Style

0 10 20 30 40 50 60 70



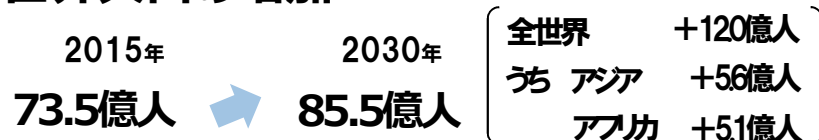
テレワーク

世界的な交流の拡大

世界を行き交う人・モノ・情報の量とスピードが飛躍的に拡大

- ・世界人口の拡大と所得の増加に伴って**外国人旅行者**が増加
- ・情報コミュニケーション基盤の進歩が、**瞬時の情報共有**を実現
- ・**基幹道路**ネットワークの整備や、**関西3空港**の一体運営が進展

◆ 世界人口の増加



◆ 外国人旅行者の増加



◆ 世界の貨物量 (海上輸送量)



◆ 情報交流の拡大



◆ 陸海空の交通インフラの充実

区分	内 容
道路	・中国横断自動車道臨烏取線(2021年度完成) ・大阪湾岸道路西伸部[六甲アイランド北~駒栄] 名神湾岸連絡線、山陰近畿自動車道兵庫道路Ⅱ期、北近畿豊岡自動車道[日高神鍋高原~豊岡]、東播磨道(2030年頃までの完成) ・山陰近畿自動車道[全線]、北近畿豊岡自動車道[全線] 神戸西バイパス、播磨臨海地域道路(早期完成に向けた整備推進)
空港	・関西3空港の一体運営、伊丹・神戸の国際化の推進
港湾	・神戸港の国際戦略港湾としての競争力強化
鉄道	・リニア中央新幹線 名古屋-大阪間(2037年頃開業想定)(8年間前倒しの場合) ・北陸新幹線 敦賀-大阪間(リニアとの同時開業に向け努力)

環境変化⑤ 高まるリスクと持続可能な環境づくり

リスクを正しく捉え未来を創る

- ・ 地震、風水害、感染症など、**高まるリスク**への危機管理の強化が必要
- ・ 地球温暖化の進行に対し、地域から持続可能な**環境社会を先導**

◆ 南海トラフ地震

・地震の規模 M8～9クラス ・発生確率 30年以内に70%～80%

◆ 多発する豪雨

・1時間に80mm以上の降水発生回数(全国・年平均)

1976～1985年 2006～2015年

10.7回 → 18.0回



丹波豪雨による被害 出典 国土地理院環境ホームページ

◆ 新感染症のパンデミック

- ・2003年 : SARS (重症急性呼吸器症候群)
- ・2009年 : 新型インフルエンザ
- ・2020年 : 新型コロナウイルス



液化水素運搬船

◆ パリ協定の発効

- ・パリ協定のもと、温室効果ガスの排出量を2030年度までに26.5%削減
- ・温室効果ガス排出量 (県)

2013年 75,182kt-co2

2030年 55,248kt-co2 (△26.5%)

◆ 水素社会の到来 【2030年頃の普及イメージ・国ロードマップ】

- ・海外からの未利用エネ由来水素の製造、輸送・貯蔵の本格化

新ビジョンに関する主な意見（将来構想研究会）

① 定住の時代から流動化の時代へ

- 定住の時代は終わる。場所に縛られるオフィス勤務はなくなり、**住まい・職業の流動性**が高まる時代に

② 多自然地域こそ若者のフロンティア

- **若者のフロンティア**は、これまでは世界だったが、これからは課題の山積する多自然地域になる。イノベーションの発信地は地方に



designed by Freepik



designed by Freepik



出展 officee Website

新ビジョンに関する主な意見（将来構想研究会）

③ 兵庫が最先端ビジネスの発信地に

- AI等の最先端技術を活用した**実験的なビジネスが、全国に先駆けて県内どこでも展開**できる兵庫に

④ 大企業信仰が消え、個人事業主が主役に

- 大企業信仰がなくなり、起業や副業、フリーエージェントなど、**自由に能力を発揮できる働き方**が拡大



designed by Freepik



新ビジョンに関する主な意見（将来構想研究会）

⑤ 地域コミュニティが体験教育を展開

- 情報通信教育が拡充する一方で、人間性を養う体験教育が重要に。**地域コミュニティが中心となって体験教育を展開する兵庫モデル**が確立

⑥ 自分なりの生き方を追求

- **働き方の多様化**が進むにつれ、自由な時間が増え、誰もが**自分なりの生き方**を大切にする社会に（学び直し、芸術文化・スポーツ、地域活動等）



出展 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム



出展 豊岡市



将来構想試案 骨子案（新ビジョンの方向性）

① 個性の追求

- すべての県民が**自分らしい生き方を求めて自発的に行動する社会**をつくる必要がある。**多彩な産業**が営まれ、**やりたい仕事、多様な働き方に挑戦できる**兵庫をめざす。

◆社会のイメージ

- ・ 一人ひとりの個性が尊重され、誰もが自分が大切にする価値を追求できる社会
- ・ 時間の使い方や自分の進む道、生き方を自己決定できる社会、それを応援する社会
- ・ やりたい仕事に挑戦できる社会、その素地として多彩な産業が活発に営まれる社会

◆未来シナリオ

- ① 一日の大半が自分時間 ② バーチャルの進化で充実するリアル ③ 毎日いきいきスポーツライフ
- ④ いつまでも健康ライフ ⑤ 働く場所も時間も自由に ⑥ いつでもどこでも思い立ったら学ぶ
- ⑦ 次々生まれる挑戦者 ⑧ 新たな産業が芽生える先進地 ⑨ 五国の個性彩る御食国

将来構想試案 骨子案（新ビジョンの方向性）

② つながりの再生

- 個を大切にすると同じほど、**人と人の温かいつながりを大事にする**。弱い立場にある人々を取り残さないよう、**多様なコミュニティが活発に活動する**社会をめざす。

◆社会のイメージ

- ・ 個が強まる中でも、人と人とのつながりが保たれ、孤立や孤独を生まない社会
- ・ 格差が拡大する中でも、多様なコミュニティがセーフティネットとして機能する社会
- ・ 自助、共助、公助のバランスが取れ、いかなる危機にも助け合って対応できる社会

◆未来シナリオ

- | | | |
|---------------|--------------------|--------------------|
| ⑩ シェアして生きる | ⑪ 拡張する家族 | ⑫ 出入り自由、ゆるやかコミュニティ |
| ⑬ 地域コミュニティが稼ぐ | ⑭ 最期まで自分らしく生きられる地域 | |

将来構想試案 骨子案（新ビジョンの方向性）

③ 開放性の徹底

- 自分らしい生き方ができる前提として、その基盤が整っている必要がある。**情報が共有され、誰もが活躍でき、どこへでも好きな場所へ行ける環境が整う未来をめざす。**

◆社会のイメージ

- ・ 必要な情報をいつでもどこでも取得でき、自由に世界を動き回れる社会
- ・ 開かれた交流の場が至る所にあり、誰もが才能と情熱を解き放つことのできる社会
- ・ 組織や地域の垣根を越えて多様な人々が自由に意見を交わし、協働する社会

◆未来シナリオ

- ⑮ 移動ストレスゼロ社会 ⑯ 流動化し、軽くなる住まい ⑰ 地下、そして宇宙へ
- ⑱ デジタル自治体 ⑲ 多文化が入り混じる兵庫 ⑳ なくなるジェンダー・バイアス
- ㉑ なくなる定年、活躍するシニア ㉒ 誰もが生きやすいユニバーサルデザイン社会

将来構想試案 骨子案（新ビジョンの方向性）

④ 美の創生

- 自然の美しさ、街の美しさ、人々の営みの美しさ。様々な「美」へのこだわりを、兵庫の強みにしたい。**未来に伝えるべき「美」と「文化」を生み出せる地域をつくる。**

◆社会のイメージ

- ・ 県民が美へのこだわりを持ち、自分の活動領域の中でそれを表現していく社会
- ・ テクノロジーを駆使して、美しい自然や街並みなど魅力的な空間が形成される社会
- ・ 兵庫五国の多彩な美と文化に磨きがかかり、その魅力に惹き付けられて人が集まる社会

◆未来シナリオ

- ②③ 集中から分散へ
- ②④ 自然とともに暮らす
- ②⑤ 磨かれる五国の美
- ②⑥ 際立つ美観
- ②⑦ 息づく芸術文化

将来構想試案 骨子案（新ビジョンの方向性）

⑤ 次代への責任

- 社会をより良いものに変えて次代に引き継ぎたい。気候変動への対応など大きな変革が求められる難題を後回しにせず、**今できることから行動を起こす**必要がある。

◆社会のイメージ

- ・ 持続可能な社会づくりに向けて県民が協力して取り組み、世界にも貢献する社会
- ・ 次世代の可能性を広げる教育が営まれ、地域の産業、文化が継承される社会
- ・ 次世代により良い自然環境と安全で快適な県土を引き継ぐべく努力する社会

◆未来シナリオ

- | | | | |
|--------------|------------------|----------|-------------|
| ②⑧ 未来の学校 | ②⑨ 再生可能エネルギー100% | ③⑩ 森の再生 | ③⑪ 亜熱帯化する兵庫 |
| ③② 進化する防災先進地 | ③③ つくるから使い続けるへ | ③④ 地域の継承 | |

ポストコロナ社会兵庫会議

<趣旨>

五百旗頭県立大学理事長の発案により、兵庫ゆかりの有識者による「ポストコロナ社会兵庫会議」が国をはじめ広く社会に対してコロナ後の社会のあるべき姿を提言

<構成員（12名）>

荒川 創一	神戸大学大学院医学研究科客員教授
安藤 忠雄	建築家
家次 恒	兵庫県商工会議所連合会会頭（シスメックス㈱代表取締役会長兼社長CEO）
五百旗頭 真	兵庫県立大学理事長、（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長【座長】
加治佐 哲也	兵庫教育大学学長
金出 武雄	カーネギーメロン大学教授、京都大学高等研究院招聘特別教授
砂原 庸介	神戸大学大学院法学研究科教授
高土 薫	㈱神戸新聞社代表取締役会長
畑 豊	兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科教授
平田 オリザ	劇作家・演出家
南 裕子	神戸市看護大学学長
室崎 益輝	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授



令和2年7月8日 提言書発表

ポストコロナ社会兵庫会議の提言①

① パンデミック時代の危機管理

- 感染症の歴史は新たなステージに入った。ウィルスは人類のつくったグローバリゼーションに乗って全世界に広がる。たとえ抑え込んでも、新たなウィルスが必ず襲来する。この現実を前提に、医療・検査体制の強化、自然災害と感染症の複合災害への備えなど、**新たな時代に即した危機管理体制の構築**が必要

(危機管理省の設置、科学的な政策判断、医療体制の強化、緊急時対応の法制化、避難所革命)

② デジタル革新の加速

- 非接触や外出自粛が求められる環境下、デジタル技術が経済社会の生命線となり、テレワークやオンライン教育などの壮大な社会実験が広がった。世界に大きく遅れをとっている**デジタル化を全社会を挙げて加速**させなければならない

(テレワークを当たり前の働き方に、オンラインを組み込んだ学校教育のハイブリッド化、オンライン診療の研究、通信能力の高度化、マイナンバーの活用と個人情報保護)

ポストコロナ社会兵庫会議の提言②

③ 産業の競争力・リスク耐性の強化

- 産業の競争力とリスク耐性を高めるため、AIやIoT、ロボットなど**新技術の導入を加速**させるとともに、特定の国に過度に依存したサプライチェーンを見直すべき
(サプライチェーン再構築、デジタルリテラシー向上、スタートアップ支援)

④ 分散型社会への転換

- コロナ危機は、人が密集する都市集中型社会の脆弱性を明らかにした。働く場所を自由に選べるテレワークの普及を図りつつ、都市・地方がバランスのとれた**分散型社会への変革**を図るべき
(大胆な地方分散政策、新しいライフスタイルの確立、住環境の充実、芸術文化拠点の分散化)

⑤ 社会の絆の再生

- 日本が比較的早く第1波を抑え込むことができたのは、格差の少ない社会において、政府の要請に対する認識力や国民的一体性の高さがあつたからではないか。コロナ禍を契機に**社会の絆、コミュニティの大切さ**を改めて訴えるべき
(セーフティネットの充実、サードプレイスの創出、連帯と共生のメッセージを世界に発信)

西播磨新地域ビジョンの検討課題例

① 暮らし・生活

- 若者のふるさとへの愛着の育成、**転出抑制**と**U I J ターン**の促進
- 結婚や子育て環境の整備、地域医療・高齢者ケア体制の確保
- 買い物、通院、通勤・通学等、公共交通空白地域の**二次交通対策**
- 新たな担い手育成による**地域コミュニティの維持**・次世代への継承

② 産業・ツーリズム

- **山城や伝統文化**など西播磨ならではのツーリズム振興による**交流人口の拡大**
- **地元優良企業のブランド力**や**特色ある農水産物**、豊かな森林など、地域資源を生かした産業の活性化、遊休農地や空き店舗等の有効活用
- 多様な働き方の実現による女性や高齢者の活躍促進

③ 安全・安心

- 地震、津波、豪雨等の自然災害へのソフト面の備え
- 低炭素社会づくりや生態系の保全など、**人と自然との共生**